

(様式4号)

まちづくりアドバイザー派遣結果報告書

令和7年6月9日

茨城まちづくりセンター  
運営委員長 殿

報告者（主催者） 日立市都市政策課長

まちづくりアドバイザー派遣制度運営要項第6条の規定に基づき、次のとおり報告します。

実施日時	令和7年6月4日(水)午後2時から午後4時まで
主催者の名称	日立市 都市政策課
講演会等の名称	令和7年度第1回日立駅周辺地区まちづくり会議
アドバイザー氏名	内山 征氏
実施場所	会場名 ヒタチエ5F
参加者数	19名
講演内容（具体的に詳しく記入して下さい。） 【演題】 令和7年度第1回日立駅周辺地区まちづくり会議 【内容】 ・令和6年度 地域主体の「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の実現に向け、茨城県都市計画協会が行う、まちづくりアドバイザー派遣制度（講師：(株)アルメック内山氏）等を活用しながら、地域住民・商店会・企業・大学・行政関係者が集まり、令和6年7月から令和7年1月までに計5回のまちづくり会議を実施した。 令和6年12月7日(土)・8日(日)には、これまでのまちづくり会議の結果を踏まえ、日立市と日立製作所の共創プロジェクトの取組として開催した「ひたち次世代モビリティフェス」に併せてまちづくりイベントを実施した。 ・令和7年度 今年度の第1回目となる本会議では、今後の「日立駅周辺のにぎわい創出に向けた取組」や「日立駅周辺地区の未来ビジョンの策定・エリアプラットフォームの構築」について意見交換を行った。 アドバイザーには、他市町村のまちづくりの事例や未来ビジョンの概要等について説明いただき、本会議が円滑に進むように補助していただいた。	

## 感想など

### 1 未来ビジョンについて

日立駅前周辺地区における未来ビジョンの策定に向けて、東京都池袋地区の事例を踏まえながら、今後の進め方について意見交換を行った。

#### 【結果】

- 本市の目指すまちの将来像については、現段階で決めるのではなく、実際に活動をして実情を把握しながら検討していく。
- 「日立市の歴史」・「これまでにない新しいもの」の両方の側面を大切にしながら、まちの将来像を考えていく。
- 未来ビジョンに示すまちの将来像には、計画の具体性を高めるため、達成すべき計画期間を設定する。

### 2 エリアプラットフォームについて

エリアプラットフォームを構成する上で必要となる人材等について、意見交換を行った。

#### 【結果】

- 現在、メンバーの学校の枠組みは、茨城大学(工学部)のみであるため、茨城キリスト大学にも声掛けが必要。
- 女性の意見も重要であるため、女性メンバーをより増やしていく必要がある。
- 子育て世代の親や子どもも必要な人材になる。
- 社会実験などで空き店舗を活用する可能性があるため、不動産事業者も必要な人材になると思う。
- エリアプラットフォームの構成員などに声掛けする際は、相手方の協力するメリットを考える必要がある。

### 3 その他の意見

- 日立市に来たことがない人の視点から、日立駅周辺の現状について意見をもらうことも必要である。
- 実際に他市町村のまちづくりの視察を行い、新たな発見を得る機会を設けることが必要である。
- クラウドファンディングや協賛金など、団体で収入を得る仕組みを考える必要がある。
- 社会実験などで、子ども達に焦点をあてた取組を行うことも良いと思う。子どもが来ると保護者も集まるため、自然とまちの賑わい創出につながる事が考えられる。

本会議の意見交換の結果を踏まえながら、「日立未来ビジョンの策定・エリアプラットフォームの構築」を検討していく。

以 上

## 令和7年度第1回日立駅周辺地区まちづくり会議の様子

